溶接クラフト科

6ヵ月訓練

溶接クラフト科は、製造業で働くために必要となる製図(建築や機械の図面が読める・描ける)技術、機械加工(工作機械で金属を削る)技術、溶接(金属を溶かして接合する)技術を習得します。特に溶接の仕事は、人材不足のため求人が多くあります。安全面や技能・技術の必要性から正社員雇用がほとんどです。また、工場内などの現場で必要となるクレーン・玉掛けなどの技能講習・特別教育も実施しており、正社員として就職を目指すことができます。

システム名	訓練内容
『AR＝拡張現実』溶接訓練	『AR＝拡張現実』を活用して、安全に溶接の作業を学びます。ARの技術を使って溶接の作業を疑似体験し、その後、本物の器具や材料を使って技術力を高めることで、円滑な技術の習得を支援しています。
構造物溶接基本	溶接とは、鉄と鉄を溶かして一体化させる技術のことです。屋外でも作業できる被覆アーク溶接、溶接作業の主流である炭酸ガスアーク溶接、高品質のTIG溶接の技能及び関連知識を習得します。
鉄鋼製作作業	鉄鋼構造物図面の通りに鉄鋼材を切断し、穴あけ作業を行った後に、製作した複数の部品を組み立てて製品(課題)を作ります。「ものづくり」の一連の工程で必要となる技能及び関連知識を習得します。
構造物鉄工基本	建築構造物や機械構造物の概要と製図をCADを通して習得します。 あわせて鉄鋼材の加工に必要となる切断作業や穴あけ作業、研削作業等に関する技能と知識を習得します。
工作機械作業	丸い物を削る普通旋盤、四角い物を削る汎用フライス盤といった汎用機による加工方法や作業の工程について学びます。汎用機による加工を行った後に数値制御によるNC工作機械を使い、より複雑かつ実践的な加工についても習得していきます。
構造物運搬作業	鉄骨や造船ブロックなど、溶接して大きくなった製品は人の手では運べません。クレーン等を用いて各種の荷役作業をするための運転、ならびに玉掛け作業に関する技能及び関連知識を習得します。



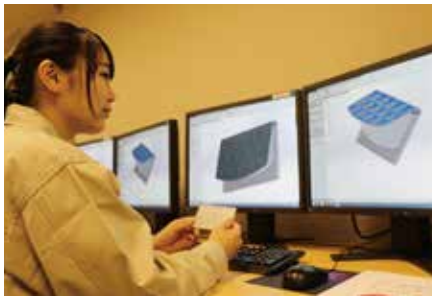
『AR＝拡張現実』溶接訓練



構造物溶接基本



鉄鋼製作作業



構造物鉄工基本



工作機械作業



構造物運搬作業